

クオリティインディケーター(QI)成果報告

〔感染管理部門〕

指標名

MRSA 新規院内発生率

目標・ゴール

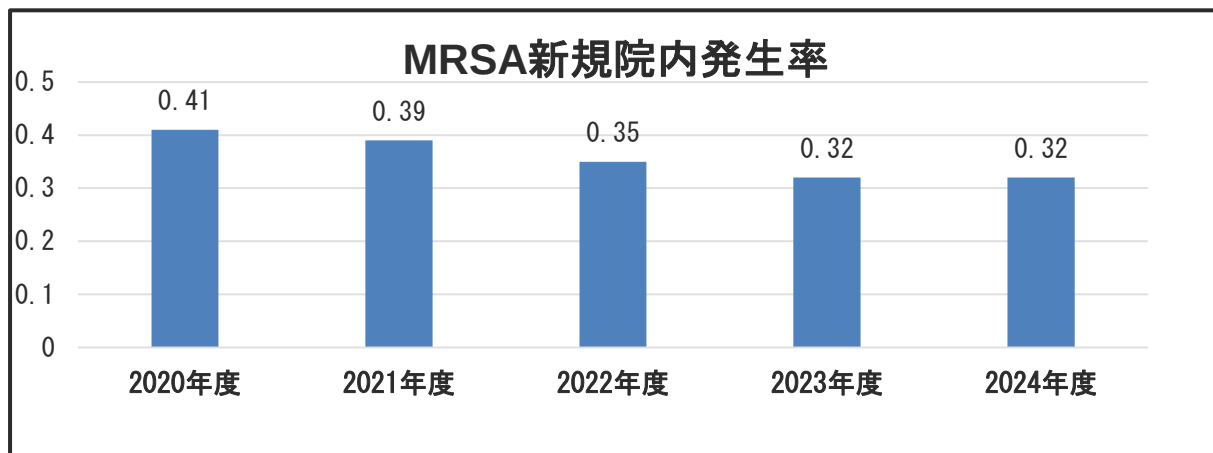
耐性菌対策の強化による MRSA 新規発生率の低減

目標・ゴール達成による効果

【目標】新規院内発生 of 複数発生時における早期介入・予防策強化を図り、院内伝播を低減する。

【効果】医療関連感染を原因とした感染症治療による入院超過、感染症死亡事例の回避につながり、最終的に順調な退院、社会復帰ができる。

目標・ゴールに対する成果の状況



当院の定義・算出方法

$$\frac{\text{分子：MRSA発生率（持ち込み症例は除く）}}{\text{分母：在院総患者数}} \times 1000 (\text{‰})$$

※入院後、48 時間以降に採取された検体から MRSA が検出されたもの（分子）

※「‰（パーミル）」千分率で表しています

目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- ☐S :大幅に目標を上回った
- ☐A⁺:目標を多少上回って達成
- ☒A :目標を達成
- ☐B⁺:目標を少し下回った
- ☐B :目標を下回った
- ☐C :目標を大幅に下回った
- ☐ー :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

重症急性期患者の治療背景から抗菌薬使用密度は高く、MRSAをはじめとした薬剤耐性菌の発生・拡大リスクは継続している状況である。薬剤耐性菌をつくらない、拡げない両立した活動促進を継続していく。